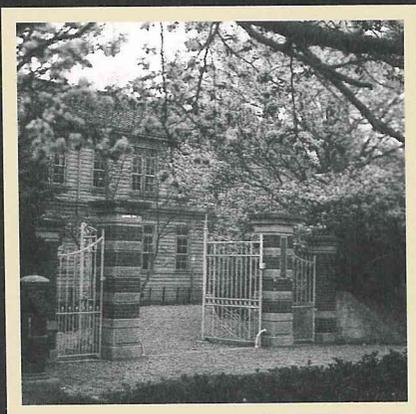


敷地・建物配置の変遷

校門



開校当時の校門 中の建物は旧本館



衾津街道に面していた校門：前の道路は現在学部のメインストリート

雪の校門 後に現在も残る守衛所と現在テニスコート南側に移築した武道場がみられる（昭和9年頃）

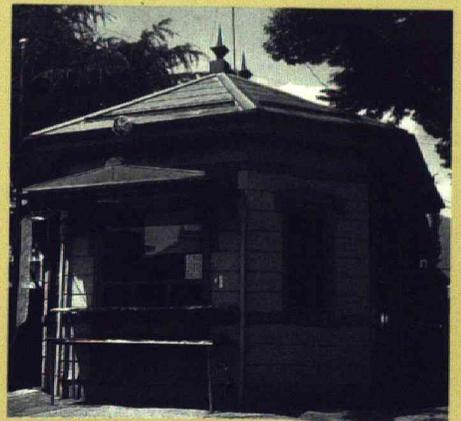




戦後の校門 戦時中供出された旧鉄製扉に代る木製扉（昭和23年頃）

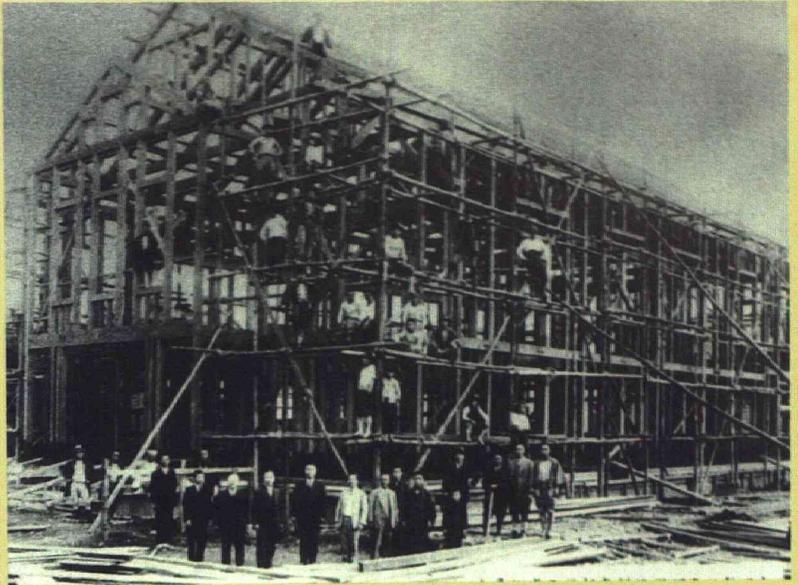


大学の門札をかかげた校門（昭和28年）

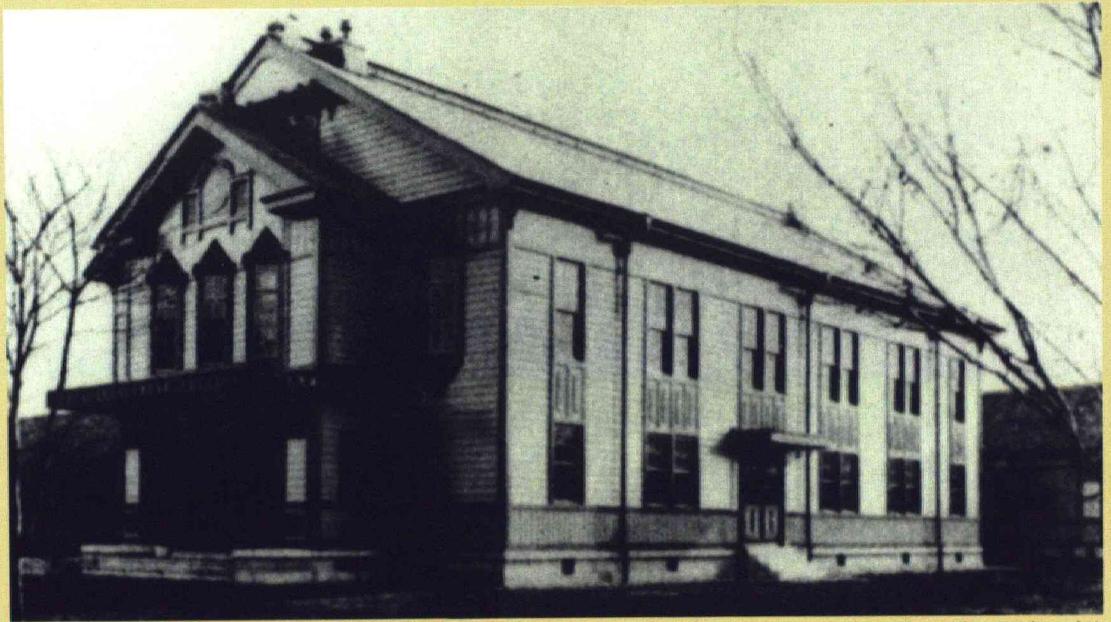


守衛室 現存する木造建造物で2番目に古いもの。幾多の卒業生を見送ってきた
昭和40年代の校門 校内整備のため手狭になった旧校門に代った門。平成2年まで続く（昭和55年）

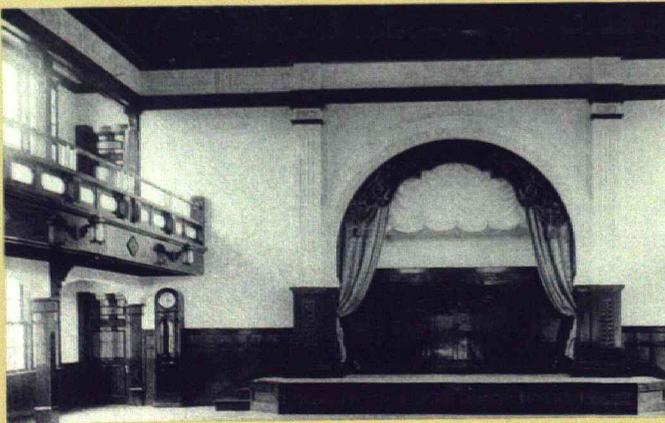
講堂



建築中の講堂 手狭な旧本館内の講堂に代って、新築中の講堂（昭和4年）



完成した講堂（昭和4年）



竣工当時の内部 正面の大時計、二階の真鍮製手摺等が印象的である（昭和4年）



講堂を利用した各種発表会
(昭和13年頃)



講堂正面 懐かしい時計台は今も時を刻む (平成元年)

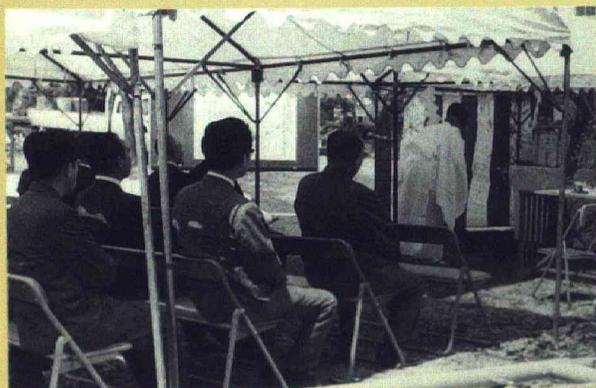


講堂内部 格天井とステージ
(平成元年)



旧管理棟全景 事務所に加え、会議室、教養部の先生方の教室も同居（昭和34年頃）

管理棟

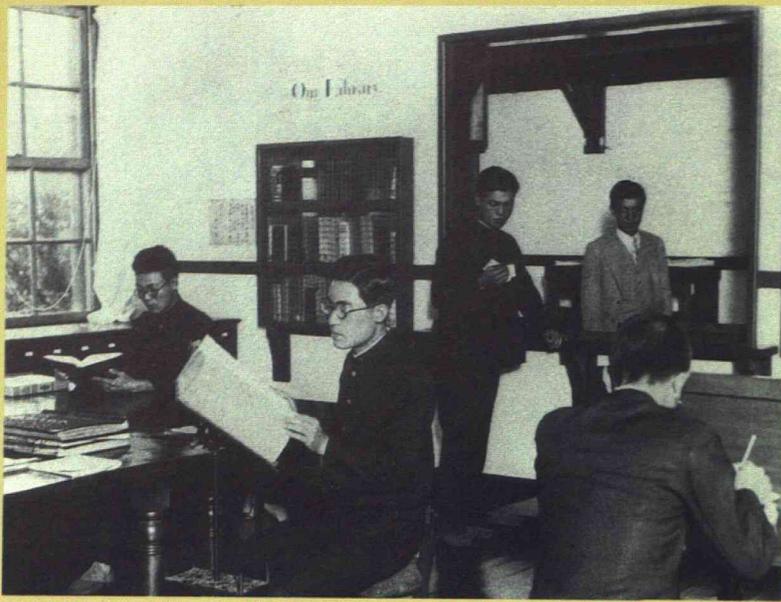


現管理棟地鎮祭（昭和45年）



新営なった管理棟 当時の繊維工業化学科の建物と一体化され、T字形に建設された。三階以上には共通講座の教室などが設けられた（昭和46年）

図書館



図書閲覧室 書棚には金属ネットがかけられている（昭和8年）

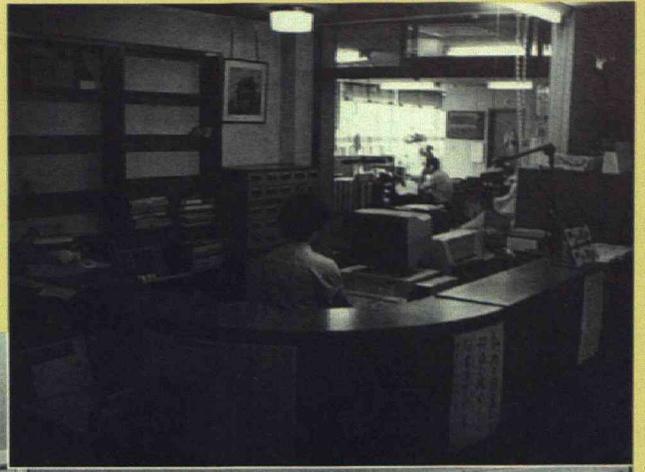


現図書館表札

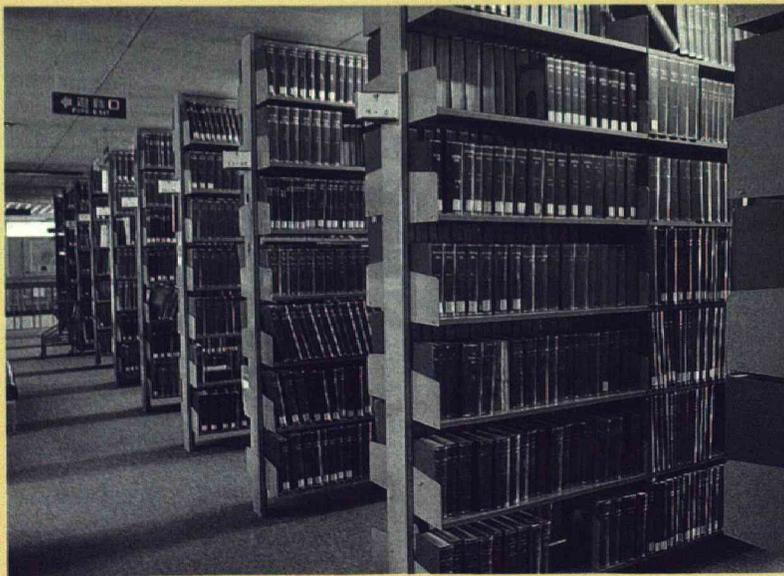
図書館全景 旧管理棟跡地に昭和47年に竣工し現在に至る（平成元年）



カウンター



閲覧室

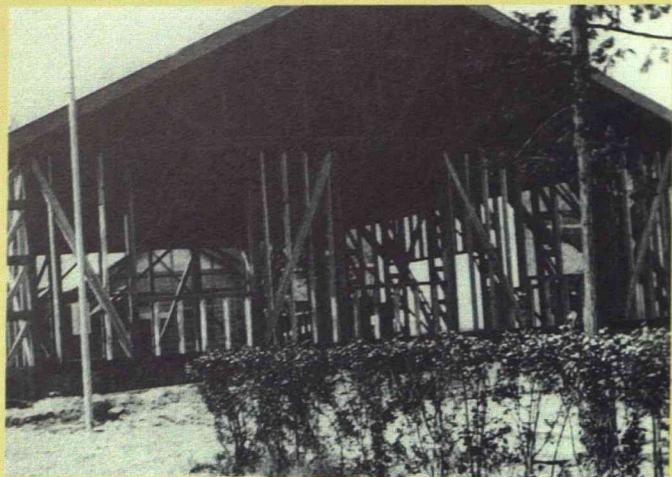


バックナンバー用書架群

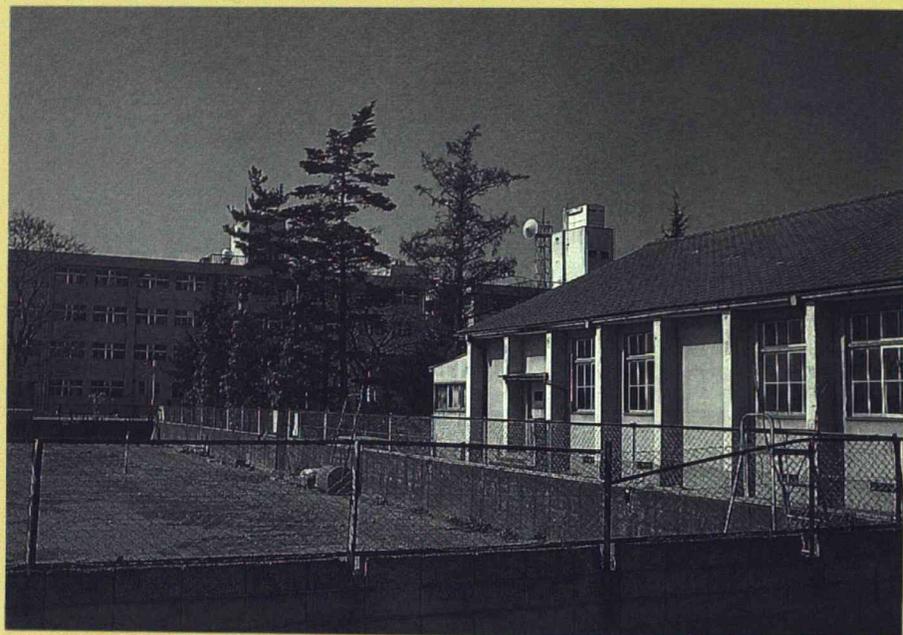
平成二年九月現在

	蔵書数	九八、三一六冊
内	和書	六二、〇四三冊
洋書		三六、二七三冊

体育館・菅平ヒュッテ・修己寮



移築のため解体される武道場 現存する最古の木造建物で、グラウンド側に移転のため解体された（昭和43年）



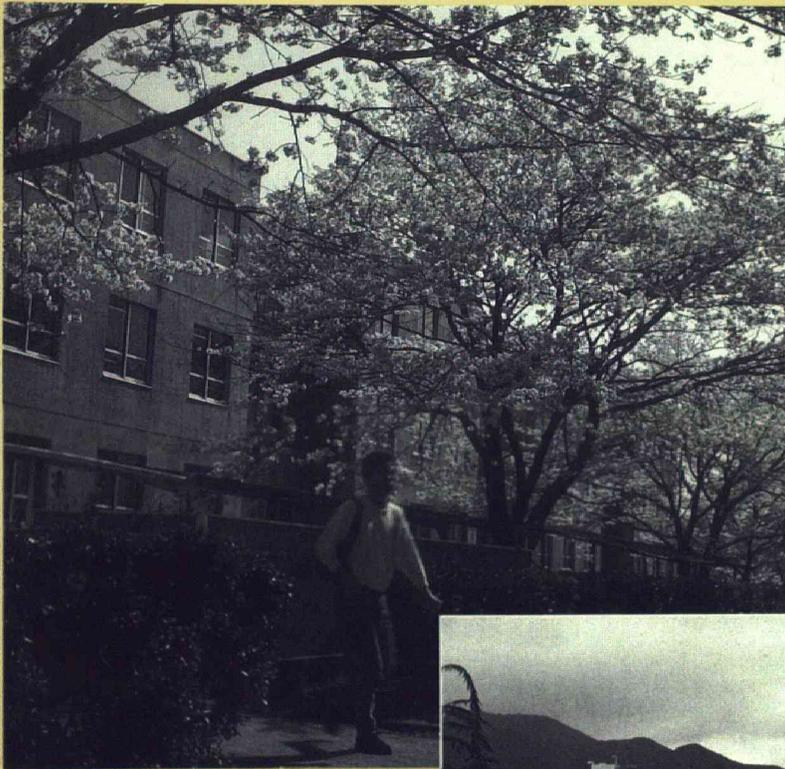
移築された武道場 正面は応用生物科学科棟、手前はテニスコート（平成2年）



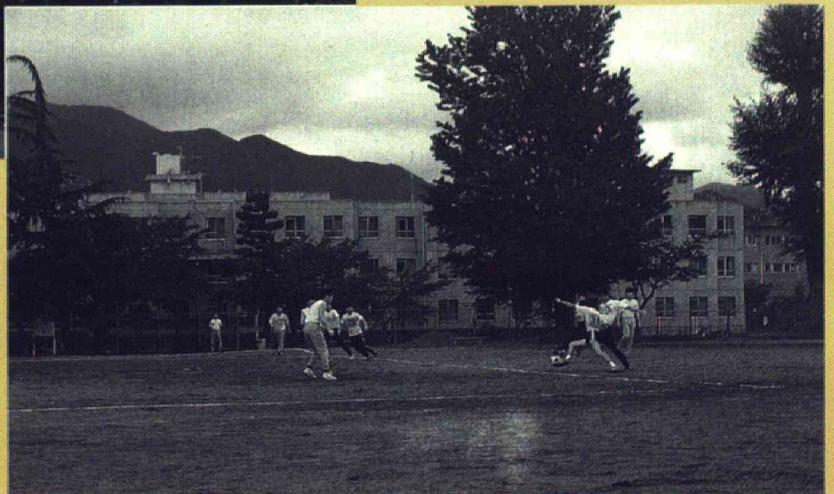
体育館 教育、課外活動のために昭和55年に修己寮西側に建設された（平成2年）



菅平ヒュッテ 改築前は木造で、
冬はダルマストーブを用いていた
(昭和40年)



桜と修己寮 旧修己寮を解体し鉄
筋コンクリート建の新寮が完成し
た(昭和51年)



修己寮遠望(平成2年)

学部構内



学部構内(1) 機能機械 学科屋上より (平成2年)

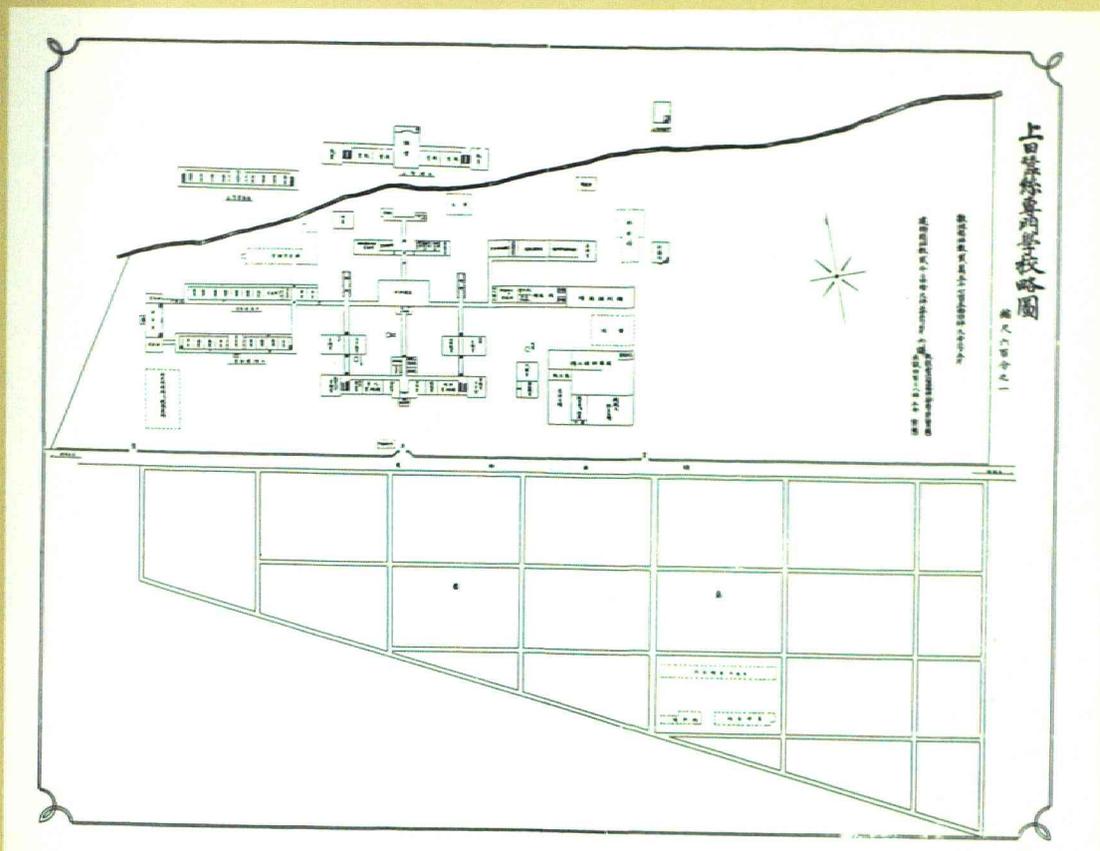


学部構内(2) 七幹の松、管理棟がみえる (平成2年)



パラボラアンテナ 応用生物科学学科前より (平成2年)

学内の建物配置



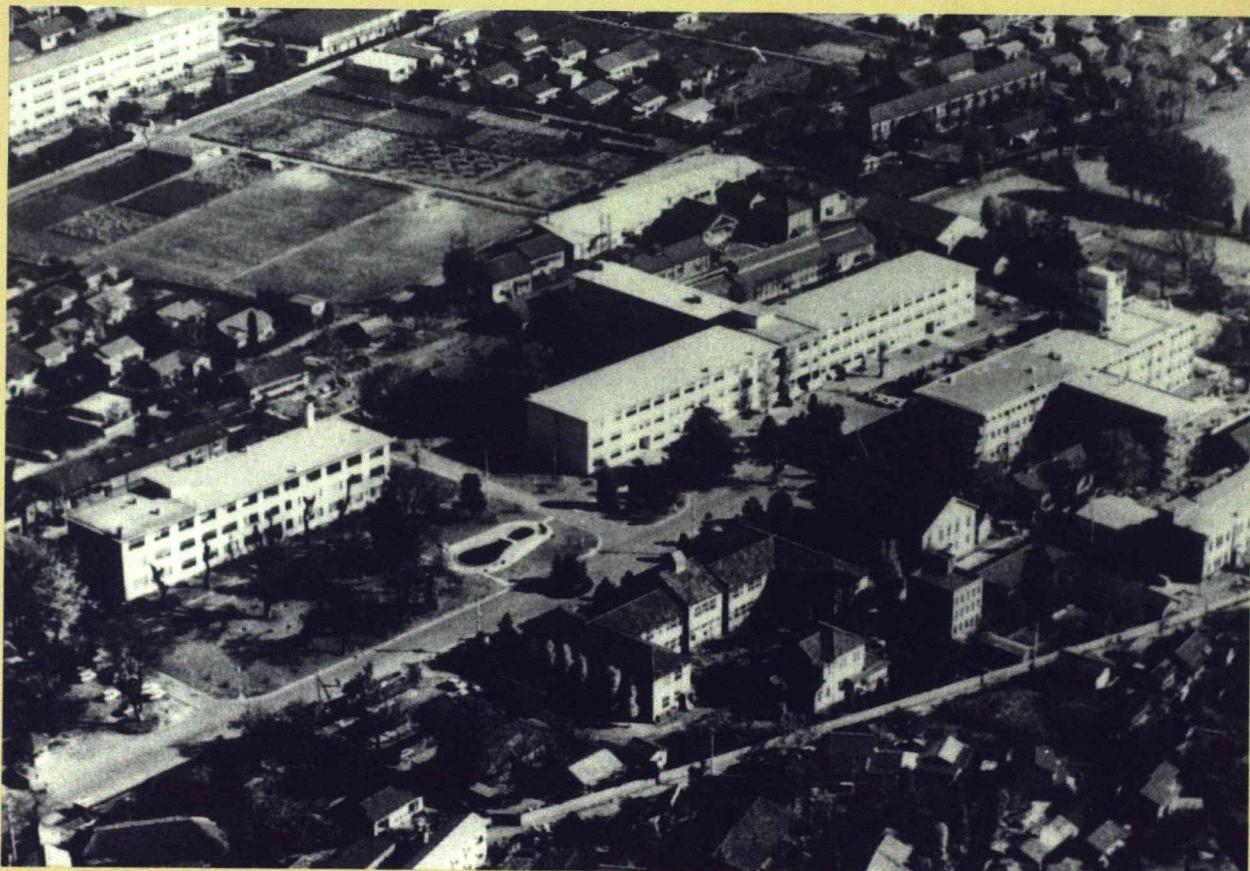
開校当時の建物配置図 校舎は称津街道に沿って、そのほとんどが道路の北側に建設された



昭和30年 現在の校門は写真右上の三角部にあたる



昭和37年 本館が焼失し、新たに繊維機械学科棟第一期工事が終了。写真上方には当時新設された産業道路が見える。



昭和45年 建設中の管理棟、解体直前の旧管理棟が見える